

事業報告書

報告日	平成31年2月11日	担当者	関健次
-----	------------	-----	-----

事業名	公民館利用者懇談会・香川公民館共催 「元気が出る子育て講座」				
事業計画カテゴリ	3. 社会的要請課題事業				
目標・目的	公民館は部屋を利用することだけでなく、様々な人が出会い、地域社会の問題をともに学び、考え、可能性を創り出す場となっている。利用者懇談会、公民館が連携し元気出る子育て講座を実施する。昔の子育てと今の子育ての違いはあるものの、子育てには、正解はなく上手くいかないのが子育てである。今回は、参加することで「心と体もリフレッシュ」していただき、楽しく元気に子育てができるきっかけづくりとなるようにする。				
日時	平成31年2月9日(日) 10時00分～12時				
場所・会場	香川公民館 講義室				
講師・指導・協力者	成瀬明子(茅ヶ崎市香川保育園) 竹内サチ子(マットピラティスインストラクター・健康管理士・介護予防運動指導員)				
報償額	5,000円 (詳細裏面)	支払い方法	<input type="checkbox"/> 口座振込 <input checked="" type="checkbox"/> 現金(資金前渡)		
対象者	一般	定員数	10組	実績人数	親子 8組 18人
材料費	なし	材料費用途			
概要	これまで、何百人と保育に携わってきたベテラン保育士の話を聞くことと、グループに分かれて同じ乳幼児を持つ母親同士の話を聞いて解決策を見つける。また、子育てのストレスを解消し、心身ともにリフレッシュして元気に過ごすことができるよう親子ピラティスを実施する。				
成果	当初、申込みは10組定員に達していたが、前日に体調不良によるキャンセルが2組あった。当日も大雪の予報だったためさらなるキャンセルが出るかもしれないという不安もあったが、全員参加となった。 前半の講座は、参加者から事前に聞いていた質問に対しての考え方をベテラン保育士が伝えた。その後は2組に分かれて悩み等を他人に話しを聞いてもらうことで、自分ひとりだけが悩んでいるのではなく、みんな同じように悩んでいることを再認識してもらうことが出来たと考える。 後半のピラティスでは、子どもと一緒にスキンシップをとりながらピラティスを行った。自宅に帰ってからも復習できるよう比較的簡単な動きだったので、体幹を鍛えるきっかけづくりが出来たと考える。				
自己評価	Aa				
事業に係る課題・反省点	公民館主催であるが、公民館利用者懇談会と共催(協力)というスタイルで行っている。開催までに8回打合せを行い利用者懇談会のメンバーと意見交換をしながら内容を検討することができた。今回も、公民館職員も2名(館長、志村)が事務局となり、打ち合わせの開催支援などを行い、公民館で担うべき「学習支援」が具現化された事業といえる。 アンケートにもあったが、グループでの話し合いは、少し時間が足りなかったという意見があった。また親子ピラティスは、子ども離れずに集中できなかったという意見もあり今後、親子ピラティスを実施する場合はその点、講師とも相談が必要である。				

その他

今年はインフルエンザが猛威をふるっているため、体調不良によるキャンセルが2組あった。さらには大雪予報により来館できないのでキャンセルする方が多数出るのではないか、又は開催中止するかもしれないという懸念もあった。元々、11月に予定していた事業だが、選挙のため延期となり、講義室と保育室が同時時間帯で空いている日程が限られていたため、2月の時期に開催することとなった。

今回、保育士に講師を依頼したが、経験豊かな講師ということもあり、子育てをされている方にとっては非常に有益な話が多く、今後も保育園と連携した事業を開催することも良いのではないかと思います。

成果欄 自己評価 評価基準

定員に対する評価

- A : 定員以上の申し込み
- B : 定員の8割以上
- C : 定員の半数以上
- D : 定員の半数以下

内容に対する評価

- a : 充実。次につながりそう
- b : 充実。次へのつながりはない
- c : やや不十分。
- d : 内容の見直しが必要